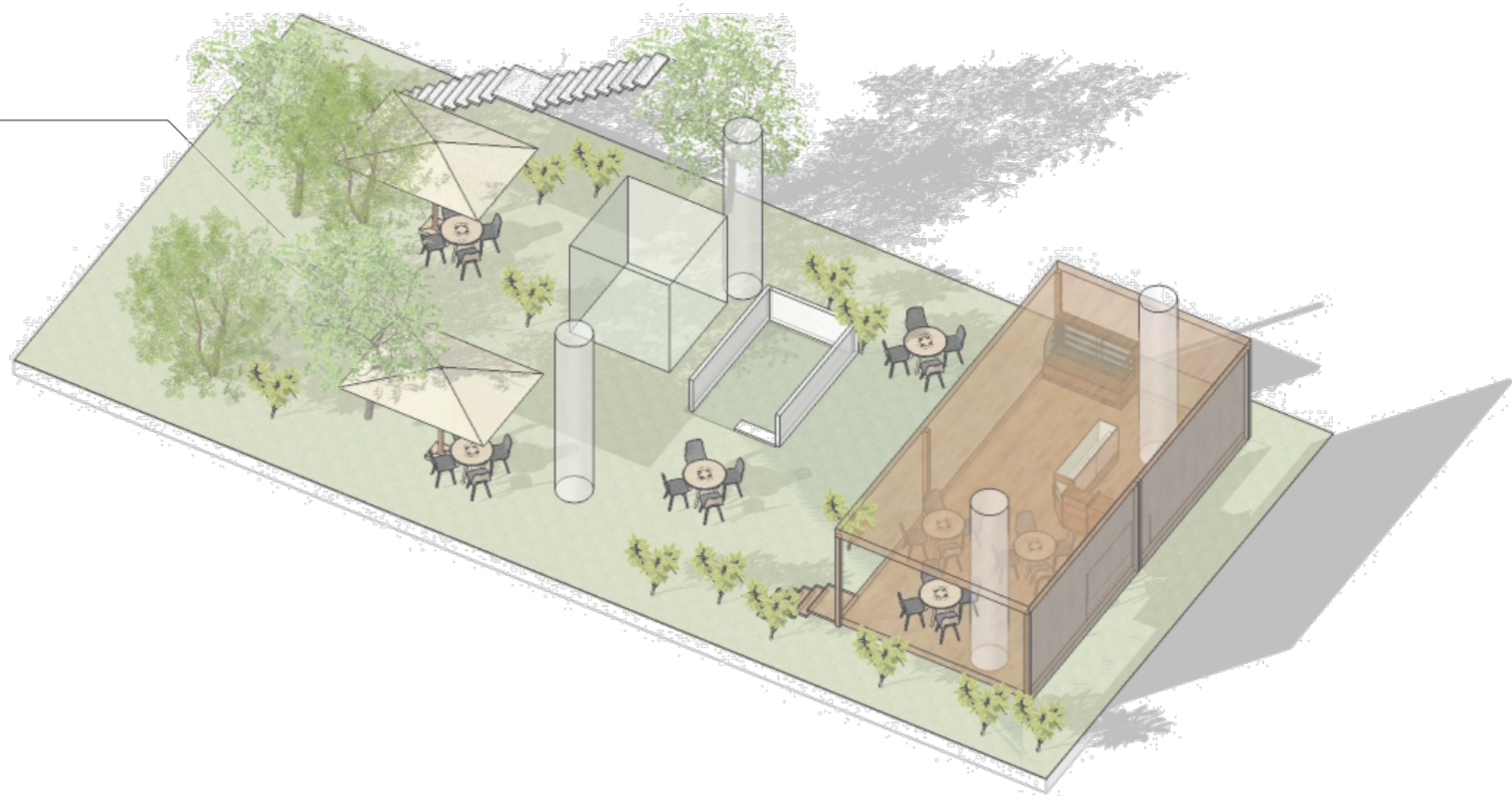
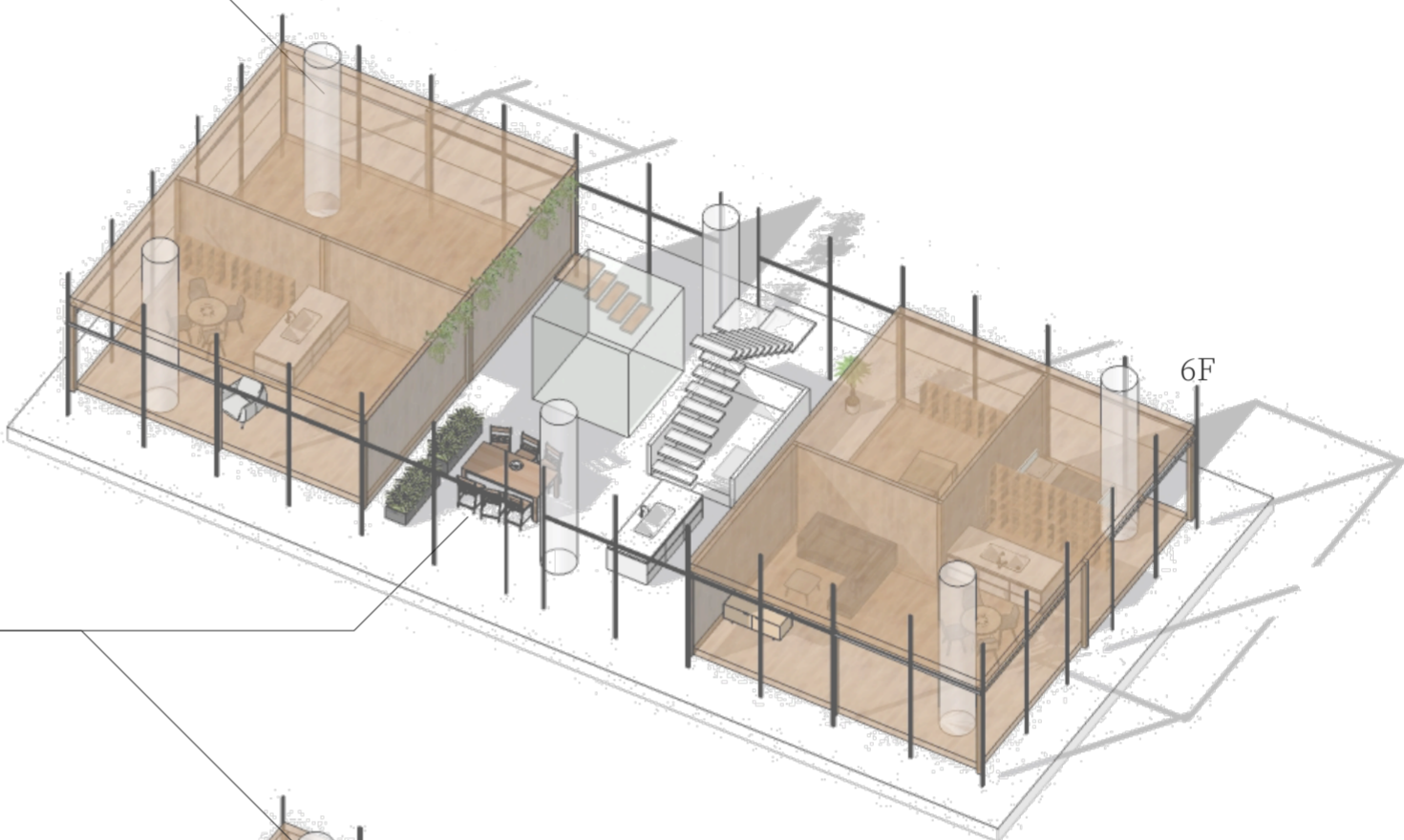


公園のように誰でも利用できる屋外空間



屋上階

木造のユニットは910モジュールでRC躯体とは構造的に切り離されており、自由に枠組みを変えることができる。RCの躯体は長い年月不変のものとして周辺の環境や耐久性、景観性により形状が決まる。木造のユニットは利用者の必要に応じて様々な形をとる。外部からは躯体により守られているので、木造ユニットは雨仕舞いや構造強度など様々な面において簡易に作る事ができる。



6F

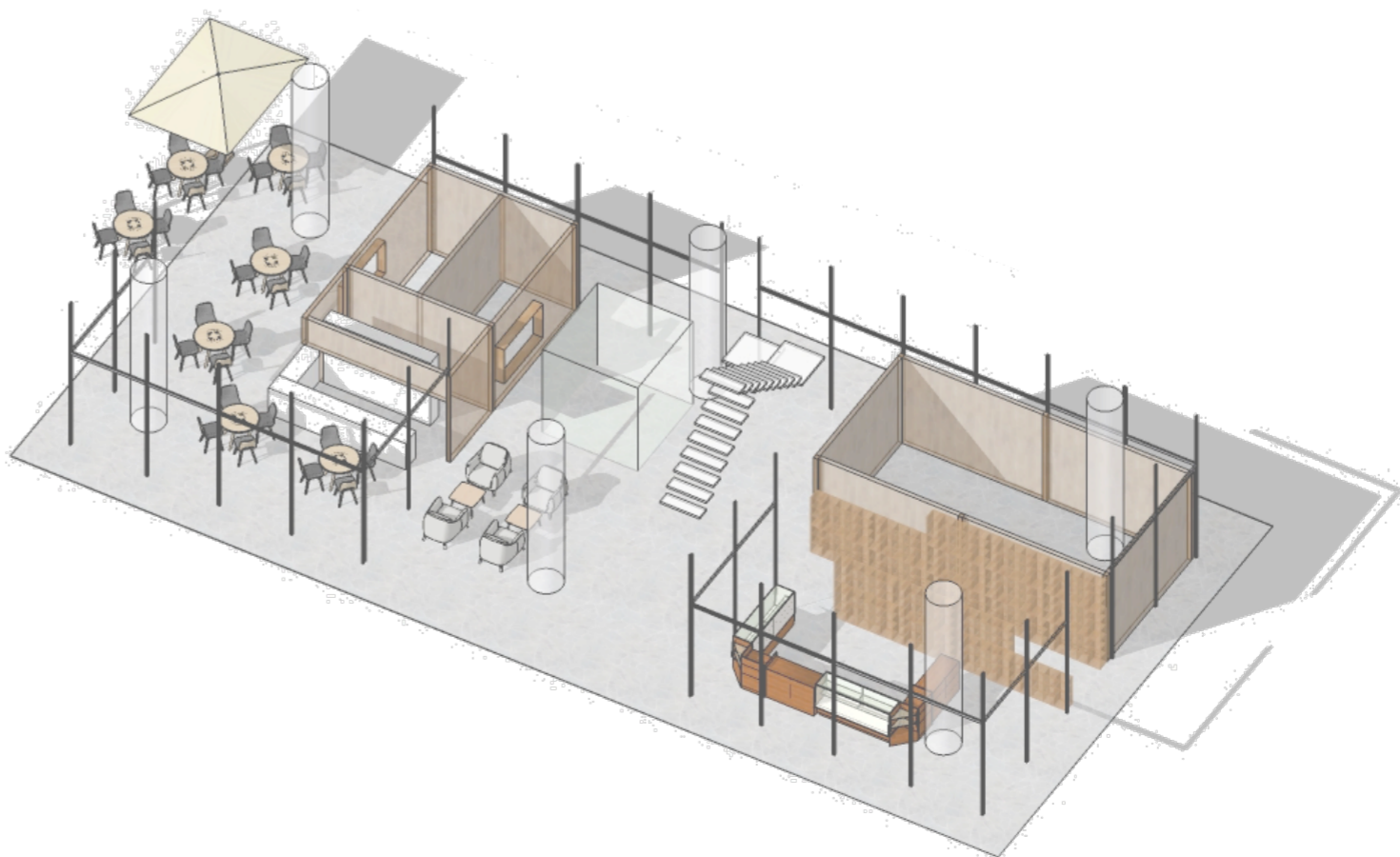
木造ユニットの間のできる空間は、住民同士の共有リビングになることもあれば、テナントの延長として使われることもある。住民やテナント利用者、外部からの訪問者などが自由に利用できるスペースとして、入るユニットの性格に応じて、プライベートからパブリックな空間にまで変化し得る。



2F~5F

外周部のガラス建具は任意に開閉でき、住戸と共用部両方の開口部として、自由に開け閉めができる。

独居者のための住戸ユニットはワンルーム空間に水回りがついたプライバシーが守れる必要最小限のものを基本とし、高齢の独居者でも不自由なく生活できるよう配慮する。共用空間を部屋の一部のように活用し、隣合わせの魅力的なテナントを身近に利用できることで、コンパクトな住戸でも充実した住空間をつくる。



1F